

BOYA

AI搭載 小型ワイヤレスマイク

BOYAMIC 2

取扱説明書

はじめに

BOYA製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の独特な機能を十分に発揮させ、末永くご愛用いただけるよう、この取扱説明書を使用前に必ずお読みください。後日参考にできるよう、取扱説明書は大切に保管してください。もしマニュアルの内容に不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

注意事項

- 本製品を分解しないでください。
- 本体を火気の近くで使用しないでください（例えば、ヒーターやオーブンなど、熱がこもる場所は避けてください）。
- 本製品は充電式電池を内蔵しています。お客様ご自身で交換しないでください。
- 本製品をクリーニングする際は、柔らかくてきれいな布で拭いてください。
- 保管時や使用時には、ほこりや湿気にご注意ください。
- より正確に音を収録するために、本体の内蔵マイクをふさがないあようご注意ください。

製品について

BOYAMIC 2は、2.4 GHzミニワイヤレスマイクシステムです。コンテンツ制作、ライブ配信、Vlog撮影、モバイルジャーナリズムなどに最適です。

送信機は、8 GBの内蔵ストレージへの録音で、音声データを安全に保存できます。32bit float録音に対応しており、急な大音量や静かな環境でも、クリアでリアルな音を細部まで録音します。各送信機は最大4台まで受信機に同時接続でき、複数デバイスによるコラボレーションも可能です。USB-Cアダプターと3.5mm TRS to TRSへのオーディオケーブルが付属しており、スマートフォン、タブレット、パソコン、カメラ、その他のデバイスとの幅広い互換性があり、さまざまな録音ニーズに対応します。

受信機にはAMOLED（アモレッド）タッチスクリーンとコントロールノブが搭載されており、送信機と受信機の状態をリアルタイムに表示し、直感的に設定・確認・調整することができます。

USB-C充電ポートで、録音中にレシーバーやスマートフォンなどの外部デバイスを充電することができます。付属の充電ケースなら、送信機と受信機をどこでもまとめて充電可能です。

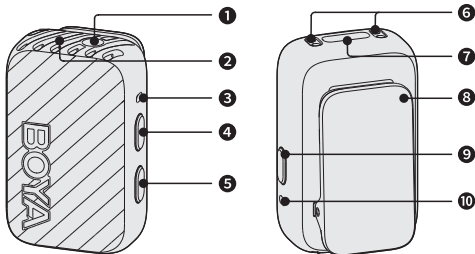
BOYAMIC 2は屋外撮影など、簡単に持ち運び、録音できます。

注意事項

- AIテクノロジーによる最大40 dBのノイズキャンセリング
- スタジオ録音クオリティの90 dB 信号対雑音比
- 32bit float録音対応、8GBのストレージを搭載
- AGC（オートゲインコントロール）とリミッターによる歪みのない音声
- 直感的な操作が可能なデザイン

製品構成

トランスミッター：送信機 (BOYAMIC 2-TX)



① 3.5mm TRS入力端子

風防や、3.5mmマイクおよびライン入力デバイスを接続します。
24Vまたは48Vの電力が必要なマイクは接続しないでください。

② 内蔵マイク

③ ステータスインジケータ

ステータス	インジケータ
未接続	青色でゆっくり点滅
ペアリング中	青色で速く点滅
ペアリング成功	青色で点灯
ノイズキャンセリングオン	緑色で点灯
バッテリー低下	赤色で点滅
充電中	赤色で点灯
フル充電	消灯
ファームウェアアップデート	赤色と緑色が点滅

- ・ペアリングモードでは、送信機のステータスインジケータが青色に速く点滅し、受信機とのペアリングを待機します。タイムアウトした場合、送信機はペアリングモードを終了し、インジケータは青色でゆっくり点滅します。
- ・送信機のステータスインジケータが赤色で点滅した場合は、送信機を充電してください。充電しないと、10分後に自動的にシャットダウンします。

④ 電源ボタン

- ・2秒間長押しで、電源のオン/オフを切り替えます。
- ・1回押すと、マイクのミュートのオン/オフが切り替わります。
- ・5秒間長押しで、シャットダウンモードに入ります。

⑤ NCボタン（ノイズキャンセリングボタン）

- ・1回押すと、ノイズキャンセリングのオン/オフが切り替わります。ノイズキャンセリングの強弱は、受信機のタッチスクリーンやBOYA Centralアプリで切り替えます。初期設定は、強いノイズキャンセリングレベルです。ノイズキャンセリングレベルは、受信機のタッチスクリーンで確認できます。
- ・スマートフォンがカメラモードで、受信機がスマートフォンに接続され、送信機とペアリングされているときに2回押すと、動画の録画を開始または停止します。この機能は、スマートフォンの音量ボタンがカメラシャッターとして機能する場合においてのみサポートされています。

⑥ 充電端子

充電端子が充電ケースの充電ピンと接続すると、充電されます。

⑦ USB-C充電ポート/データエクスポート

付属のUSB-Cケーブルで、送信機を充電します。このポートから、送信機の内蔵ストレージから録音ファイルを転送できます。

⑧ マグネットクリップ

クリップまたはマグネットで衣服などに取り付けられます。

⑨ RECボタン（録音ボタン）

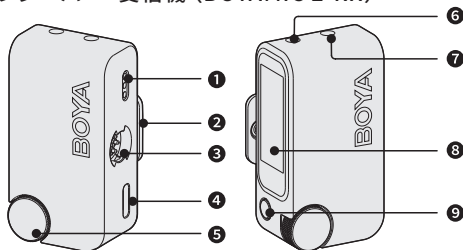
1回押すと、内蔵ストレージへの録音のオン/オフを切り替えます。

⑩ 内蔵ストレージ録音インジケータ

内蔵ストレージ録音の状態を示すインジケータです。

ステータス	インジケータ
マイクミュート	赤色でゆっくり点滅
内蔵ストレージ録音オン	赤色で点灯
ミュート/内蔵ストレージ録音オフ	消灯

レシーバー：受信機（BOYAMIC 2-RX）



① 充電端子

充電端子が充電ケースの充電ピンと接続すると、充電されます。

② ベルトクリップ

カメラのホットシューまたはコールドシューに取り付けられます。

③ 接続端子

付属のUSB-Cアダプターで、受信機をスマートフォン、タブレット、PC、またはその他の対応デバイスに接続します。

④ USB-C充電ポート

- ・ 付属のUSB-Cケーブルで、受信機の充電、ファームウェアのアップデート、オーディオ接続が可能です。
- ・ 受信機がUSB-Cアダプターでスマートフォン、タブレット、または他の外部デバイスに接続されている場合、この充電ポートをから受信機と外部デバイスの両方を同時に充電できます。

注意：接続端子が外部デバイスに接続されている場合、このポートは受信機の充電とファームウェアのアップデートのみをサポートします。

⑤ コントロールノブ

受信機のタッチスクリーンがホーム画面のとき、ノブを1回押すか回すと、送信機・受信機のゲインレベルを調整できます。設定メニューのときは、ノブを回して設定項目を選択し、1回押すとサブメニューにアクセスできます。

⑥ 3.5mm モニターポート

3.5mm TRSでヘッドフォンを接続し、送信機の音声をリアルタイムでモニターできます。

⑦ 3.5mm オーディオ出力

カメラやその他の外部デバイスに音声を出力します。

⑧ タッチスクリーン

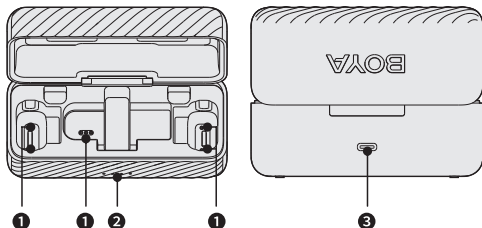
送信機のゲインレベル・内蔵ストレージ録音状態・ワイヤレス信号強度・リアルタイム録音音量・バッテリーおよび充電状態、受信機のワイヤレス信号強度・録音モード・バッテリーおよび充電状態などの情報を表示します。

ホーム画面で下にスワイプして設定に入ります。上にスワイプしてホーム画面に戻ります。詳細は「受信機タッチスクリーン操作」を参照してください。

⑨ 電源ボタン

- ・ 2秒間長押しで、電源のオン/オフを切り替えます。
- ・ 1回押すと、誤操作防止の画面ロックのオン/オフが切り替わります。

充電ケース (BOYAMIC 2-CC)



①充電ピン

②インジケーター

インジケーターのパターン： ☼ 点滅 ○ 点灯 ● 消灯

- ・ 充電ケースが電源に接続されていない (充電モードでない) 場合にケースを開けたり、送信機と受信機を入れて充電を開始すると、ケースのインジケーターはバッテリー残量を表示します。

バッテリー	インジケーター
<10%	☼ ● ● ●
<25%	○ ● ● ●
25% ~ 50%	○ ○ ● ●
50% ~ 75%	○ ○ ○ ●
75% ~ 100%	○ ○ ○ ○

注意：

充電ケースのバッテリー残量が10%以下の場合、送信機や受信機を充電することはできません。

- 充電ケースが電源に接続されている際、インジケータはケースの充電状態を表示します。

バッテリー	インジケータ
<25%	 ● ● ●
25% ~ 50%	○  ● ●
50% ~ 75%	○ ○  ●
75% ~ 100%	○ ○ ○ 
100%	○ ○ ○ ○

③ USB-C 充電ポート

付属のUSB-Cケーブルを使用して、充電ケースを充電します。

操作ガイド

送信機と受信機のペアリング

1.送信機と受信機は、充電ケースから取り出すと自動的に電源がオンになります。

2.送信機と受信機は出荷時にペアリングされているため、電源を入れると自動的にペアリングされます。ペアリングが成功すると、送信機のインジケータが青色で点灯します。失敗やペアリングが切断された場合、以下の方法で再ペアリングできます。

方法1: 充電ケースを使ってペアリング

送信機と受信機を充電ケースに入れることで、自動的にペアリングされます。ケースに入れて5秒後にペアリングが完了します。

方法2: 手動でペアリング

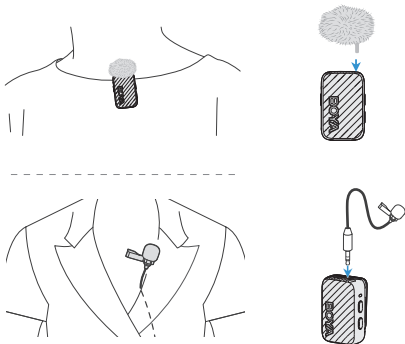
- ①送信機の電源ボタンを5秒間長押しして、インジケータが青色で速く点滅してペアリングモードに入ります。
 - ②受信機の電源ボタンを2秒間長押ししてオンにし、タッチスクリーンを左にスワイプして設定メニューに入ります。その後、「デバイスのペアリング (Pair Device)」から、「ペアリング (pairing)」をタップします。
 - ③送信機と受信機が正常にペアリングされると、送信機のインジケータが青色で点灯します。
- 3.送信機を複数の受信機とペアリングする場合、最初の受信機とペアリングが成功した後、2台目の受信機の電源ボタンを2秒間長押ししてペアリングモードに入ります。ペアリングが成功すると、2台目の受信機のタッチスクリーンに対応する送信機が表示されます。その後、同じ方法でさらに受信機をペアリングできます。送信機は最大4台の受信機に同時接続できます。

注意:

受信機が2台未満の送信機に接続され、5分以内に2台目の送信機と接続されないと、2台目とのペアリングは自動で終了します。

送信機の取り付け

1. 屋外や風の強い環境で使用する場合は、送信機に風防を取り付けてください。外部の3.5mmマイク（別売）を使用したい場合は、送信機の3.5mm TRS入力に接続してください。

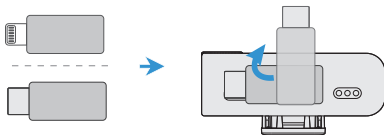


2. 送信機は、クリップで衣服に取り付けられます。またはマグネットを使用して取り付けることもでき、様々な衣服に対して柔軟に取り付けできます。



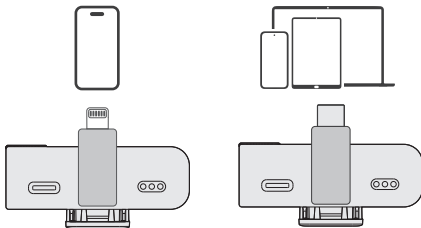
モバイルデバイスでの使用

- ご使用のデバイスのポートに合わせて、適したアダプターを受信機に取り付け、スマートフォン、タブレット、コンピューター、またはその他のモバイルデバイスに接続します。
- BOYA Central アプリまたは他のアプリで録音を開始します。アプリによっては、外部マイク (BOYAMIC 2) を選択してください。
- 騒音の多い環境では、送信機の NC ボタンを 1 回押してノイズキャンセリングをオンにすることをお勧めします。受信機または BOYA Central アプリで、ノイズキャンセリングレベルを切り替えて録音品質を向上させることができます。



iOS Lightning

USB-C



ノイズキャンセリングモードの使用推奨環境

強いノイズキャンセリング：交通量の多い路地、スタジアム、地下鉄や駅、建設現場など、非常に騒がしい環境での使用に最適です。

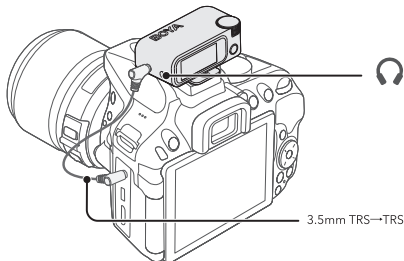
弱いノイズキャンセリング：エアコン、ファン、水流音、プリンターの動作音など、軽度の騒音を低減するのに適しています。

注意：

受信機をスマートフォンやコンピュータなどのデバイスに接続する場合、BOYA Central アプリの使用をお勧めします。このアプリは、送信機と受信機のパラメータ設定やファームウェアのアップデートを提供します。

カメラでの使用

3.5mm TRS オーディオケーブルで、受信機の 3.5mm オーディオ出力をカメラ、ミキサー、その他のデバイスに接続します。送信機から録音された音声は、接続されたデバイスに伝送されます。



注意：

カメラに接続する際、受信機のリスト上で対応するカメラのブランドとモデルがあれば、そちらを選択することをお勧めします。選択後、受信機のタッチスクリーンにそのカメラモデルに適した推奨ゲインレベルが表示されます。表示された指示に従って、録音を開始する前にカメラのゲインを調整してください。

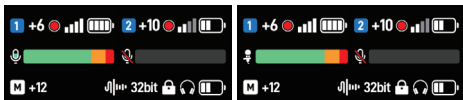
ヒント：

1. 録音前にテスト録音して再生し、音量が適切か確認することをお勧めします。
2. 騒がしい環境での録音効果を向上させるために、送信機の NC ボタンを押してノイズキャンセリングを有効にすることをお勧めします（この機能は、両方の送信機で同時にオン / オフされます）。受信機または BOYA Central アプリを通じて最適なノイズキャンセリングレベルを選択し、録音品質を向上させることもできます。
3. 録音後は、送信機と受信機をケースに戻して充電してください。

受信機タッチスクリーン操作

ホーム画面

タッチスクリーンは、上部と下部に送信機のゲインレベル、内蔵ストレージ録音状態、ワイヤレス信号強度、送信機のバッテリー残量および充電状態を表示します。また、内蔵マイクまたはラベリアマイクのリアルタイム録音音量も表示されます。受信機の録音モード、出力ゲインレベル、モニターステータス、バッテリー残量および充電状態なども表示されます。以下は、2台の送信機が接続された例です。



ホーム画面の上部には、送信機の状態が表示されます。

	送信機1 (TX1) または送信機2 (TX2) の入力ゲインレベルを示します。
	送信機の内蔵ストレージ録音がオンを示します。
	送信機1 (TX1) または送信機2 (TX2) と受信機の現在のワイヤレス信号強度を示します。
	送信機のバッテリー残量と充電状態を示します。

ホーム画面の中央には、送信機のマイクの状態が表示されます。

	内蔵マイクが録音することを示します。
	外部マイクが録音することを示します。
	送信機がミュートされていることを示します。
	リアルタイムのオーディオ入力の音量を示します。

ホーム画面の下部には、送信機と受信機の状態が表示されます。

	受信機の録音モードを示します。詳細は設定メニューを参照してください。
	受信機出力ゲインレベルを示します。
	弱いノイズキャンセリングであることを示します。
	強いノイズキャンセリングであることを示します。
	送信機の32bit内蔵ストレージ録音がオンを示します。
	受信機の画面がロックされていることを示します。 画面のロックを解除またはロックするには、受信機の電源ボタンを1回押してください。
	受信機にヘッドフォンが接続されていることを示します。
	受信機のバッテリー残量と充電状態を示します。

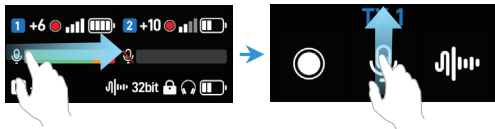
クイック設定：ホーム画面で、ノブを1回押すか回して、送信機1、送信機2、または受信機のゲインを調整できます。

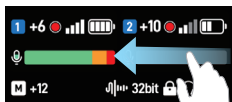
メニューの概要

メニューで20秒間操作がない場合、自動でホーム画面に戻ります。

送信機設定メニュー

- ホーム画面で右にスワイプして送信機1(TX1)、左にスワイプして送信機2(TX2)の設定メニューに入ります。アイコンをタップして、録音、ミュート、ノイズキャンセリングレベルを設定します。

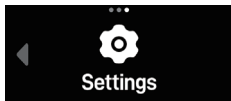
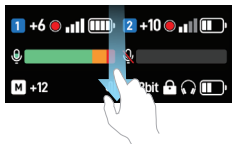




- 送信機の設定メニューを終了し、ホーム画面に戻るには、上にスワイプします。

設定メニュー

- ホーム画面で下にスワイプして設定メニューに入ります。
- 設定メニューで、左右にスワイプしてメニューを移動するか、ノブを回して選択します。
- 設定メニュー内で、メニューアイコンをタップするか、ノブを押してサブメニューに入ります。その後、設定項目を選択またはタップして設定を確定します。



送信機設定



	LEDインジケーター (LED Indicator) 点灯している場合、送信機の内蔵ストレージ録音および動作状態を表示します。送信機の内蔵ストレージ録音および状態は、動作状態を表示した後、5秒で自動的に消灯します。
	入力ゲイン (Input Gain) 「Input Gain」をタップして、送信機1 (TX1) の入力ゲインを調整します。左にスワイプして送信機2 (TX2) の入力ゲインを調整します。送信機のゲイン範囲は-12dBから+12dBで、デフォルト値は0dBです。リアルタイムの入力音量が赤くなる場合は、音声の入力過負荷を防ぐために、該当する送信機の入力ゲインを下げることをお勧めします。入力ゲインを調整すると録音音量に影響し、送信機の最小ゲインレベルはミュートではありません。
	イコライザー (EQ) 「EQ」メインメニューのアイコンをタップするか、左にスワイプして、5つのモード (オリジナル、ローカット75Hz、ローカット150Hz、ボーカルブースト、カスタム1) を切り替えます。
	オリジナル (Original) 音声を原音に近い形で録音し、明瞭さを保ちながらノイズや歪みを最小限に抑えます。音声録音、ライブストリーミング、ビデオ通話など、高品質なオーディオ録音に最適で、自然な音を伝送します。
	ローカット75Hz (Low Cut 75Hz) 75Hz以下の低周波ノイズ (風音、機器の動作音など) をフィルタリングします。音声の明瞭さを向上させ、低周波の干渉を減らすため、屋外環境に適しています。
	ローカット150Hz (Low Cut 150Hz) 150Hz以下の低周波ノイズ (エアコンの音や交通音など) をフィルタリングします。ノイズが目立つ環境に適しており、より明瞭なオーディオキャプチャを実現します。

	ボーカルブースト (Vocal Boost) 音声の明瞭さと明るさを最適化し、スピーチ、ライブストリーミング、その他声の明瞭さが重要な環境に最適です。
	カスタム1 (Custom 1) ユーザーはBOYA Centralアプリで自分のニーズに合わせてオーディオ設定を自由に調整し、このモードを受信機で有効にできます。このモードは、会議、録音、ライブストリーミングなど、さまざまな環境や用途に基づいて個別に設定を調整する必要がある場合に適しています。
	自動録音 (Auto Recording) 自動録音がオンの時、送信機は充電ケースから取り出すか電源を入れると、内蔵ストレージ録音を自動的に開始します。
	ストレージ (Storage) 「Storage」をタップして、送信機1 (TX1) および送信機2 (TX2) の残りの内蔵ストレージ録音時間を確認します。残り時間の表示をタップすると、対応する送信機のメモリをフォーマットできます。
	32bit float録音 (32-Bit Float Recording) デフォルトで、送信機は48kHz 24bit形式で内蔵ストレージ録音を行います。ユーザーは48 kHz 32bit形式で録音に切り替えることができます。詳細については、「32bit float録音」セクションを参照してください。
	TXロック (TX Lock) TXロックがオンの時、送信機のオン・オフの際は、送信機の電源ボタンのみが有効になります。それ以外のボタンは無効になり、意図しない設定変更やシャットダウンを防ぎます。
	自動オフ (Auto Off) 自動オフがオンの時、送信機と受信機が接続されず、電源を入れてから10分以内に内蔵ストレージ録音を開始されない場合に、送信機の電源が自動的にオフになります。

受信機設定



LR	録音モード (Recording Mode) モノラル、ステレオ、セーフティートラックの3つのモードを切り替えることができます。
M	モノラル (Mono) 左右のトラックに同一にミックスされてモノラル録音されます。
S	ステレオ (Stereo) 左右の別々のトラックに録音されます。
M	セーフティートラック (Safety Track) 左トラックにモノラル録音され、右トラックは大きな音量の発生で歪んだ際のバックアップに-12dBで録音をします。
	出力ゲイン (Output Gain) 「Output Gain」をタップして、受信機の出力ゲインレベルを調整します。左にスワイプして、オートゲインのオン・オフに切り替えます。受信機の出力ゲイン調整は、モニタリング音量と同期しています。 • 受信機の出力ゲイン (Receiver Output Gain) : -12dBから+12dBまで調整可能で、デフォルトは0dBです。音量の過負荷で音声がかぶっている場合は、レシーバーのゲインを下げてください。 • オートゲイン (Auto Gain) : オートゲインがオンの時、マイクのゲインはリアルタイムの入力音量に合わせて自動調整されます。大きな音にはゲインを下げ、小さい音にはゲインを上げて均一に録音します。
	カメラプリセット (Camera Presets) カメラのブランドとモデルを選択すると、受信機のタッチスクリーンにそのカメラに推奨されるゲインレベルが表示されます。録音を開始する前に、推奨される通りにカメラのゲインを調整して、録音を行ってください。

	スピーカー (Speaker) スピーカーがオンの場合、受信機が電話、タブレット、またはその他のデバイスに接続されているときに、受信機をアダプターに挿したままで音声を直接デバイスから再生できます。
	自動オフ (Auto Off) 自動オフが有効になっている場合、受信機は30分以内に送信機と接続されないと、自動的に電源がオフになります。
	デバイスのペアリング (Pair Device) 「Pair」をタップして送信機と受信機を接続します。ペアリングを行うと、現在ペアリングされているデバイスとの接続は解除されます。

一般設定



	ディスプレイ (Display) 「Display」をタップして、画面の明るさを調整します。左にスワイプして、ディスプレイの表示時間を調整します。 • Brightness : 標準、明、暗の中から画面の明るさを選択します。 • Display Time : 表示時間のタイムアウトを15秒、30秒、60秒、または常にオンの中から選択します。
	言語 (Language) 「Language」をタップし、左にスワイプして、受信機の表示言語を簡体字中国語または英語に設定します。
	日付/時刻 (Date/Time) 内蔵ストレージ録音ファイルの日付と時刻を設定できます。

	工場出荷時にリセット (Factory Reset) タップしてサブメニューにアクセスし、リセットをキャンセルまたは確認します。「Confirm」を選択すると、受信機の関連パラメータが工場出荷時の設定に復元されます (ご注意ください)
	バージョン (Version) 「Version」をタップし、左にスワイプしてシリアル番号を表示します。

32bit float録音機能

BOYAMIC 2の送信機は、32bit float録音に対応しています。このフォーマットは非常に広いダイナミックレンジで録音し、音が0dBに近い場合でも音声の歪みを引き起こしません。なお、32bit float録音はBOYAMIC 2送信機の内蔵ストレージ録音にのみ適用され、カメラの録音フォーマットには影響しません。

送信機の内蔵ストレージ録音

- ①送信機のREC ボタンを押して内蔵ストレージ録音を有効にします。または、「自動録音 (Auto Recording)」を有効化すると、送信機の電源を入れるとすぐに録音が始まります。「自動録音 (Auto Recording)」の設定は、受信機のタッチスクリーン操作をご参照ください。
- ②送信機は最大で48kHz 24bit float形式で最大15 時間、48kHz 32bit float形式で最大10 時間まで録音できます。
- ③ファイルは30分ごとに自動的に分割され、目的の録音セグメントをすぐに見つけることができます。
- ④デフォルトでは、録音フォルダは「BOYAMIC 2 Audio」になり、録音ファイルは「日付-時間.WAV」の形式で名前が付けられます。最大で999ファイルまで作成できます。

⑤送信機は、付属のUSB-Cケーブルを使用してPCに接続し、内蔵ストレージ録音ファイルをエクスポートできます。送信機のストレージは、受信機のTX設定からフォーマットできます。

⑥送信機には8GBのストレージが搭載されています。ファイルサイズが上限に達すると、古いファイルは自動的に最新のファイルに上書きされます。

注意：

- 送信機が内蔵ストレージ録音専用設定されている場合、ファイルは読み取れません。他のモードではアクセス可能です。内蔵ストレージ録音ファイルにアクセスすると、送信機はUSB接続モードに入り、内蔵ストレージ録音を開始できません。また、受信機からは送信機のストレージをフォーマットできません。
- ミュートが有効になっている場合、内蔵ストレージ録音は継続されますが、録音ファイルには音声が含まれません。
- 送信機が受信機に接続されていない場合やバッテリー残量が少ない場合でも、内蔵ストレージ録音機能は引き続き有効にして使用できます。

トラブルシューティング

使用中に問題が発生した場合、以下をご確認ください。問題が解決しない場合は、販売代理店までお問合せください。

• 送信機と受信機がペアリングできない

送信機と受信機の電源を切ります。両方の電源ボタンを 5 秒間押し、送信機のインジケーターが青色で速く点滅したら、再度ペアリングを試みます。

• 操作範囲が制限されている、音が変化する、ノイズが発生する

①録音環境内に高出力の Wi-Fi ルーターや他機器からの電波干渉がないことを確認してください。録音環境を変更できない場合は、録音に最適な距離と角度を見つける必要があります。

②2.4GHz のワイヤレス周波数のため、信号は減衰します。壁や建物などの障害物を避け、2.4GHz 信号を発するデバイス（高出力 Wi-Fi アンテナ、ラジオなど）の近くを避けてください。

③受信機が正しくデバイスに接続されているか確認してください。

• 送信機または受信機の電源が入らない

送信機または受信機を長時間使用していない場合、バッテリーが完全に放電している可能性がありますので、充電してください。

• 充電ケースが送信機または受信機を充電できない

①充電ケースのバッテリー残量が少なすぎる場合、ケースのみを再充電してから再度お試しください。

②送信機、受信機、ケース内の充電ピンの接触部分を清潔な布で拭いてください。汚れが付着していないか確認してください。

③充電接点やピンがしっかり接続していない場合、販売代理店までご連絡ください。

• 受信機とアダプターを使用する際にハウリングノイズが発生する
受信機のタッチスクリーンで、スピーカー設定がオフになっていることを確認してください。

仕様

送信機（トランスミッター：BOYAMIC 2-TX）

伝送方式	2.4GHzデジタル周波数帯
信号変調	ガウス周波数シフト・キーイング
最大到達範囲	最大300m（障害物がある場合60m）
マイク指向性	無指向性
アンテナ	PIFA（板状逆Fアンテナ）
RF出力電力	<10dBm
歪み	≤0.1%
周波数特性	20Hz ～ 20KHz
感度	≥-32dB
リファレンスレベル	-20 ～ -42dBu（マイク入力0dBゲイン）
サンプリングレート	48kHz
ビットレート	24 / 32bit
S/N比	≥90 dB
オーディオ入力	内蔵コンデンサーマイクカプセル
最大音圧レベル	120dB SPL
ストレージ	8GB
データ転送ポート	USB-C
電源	内蔵リチウムイオン電池
バッテリー容量	220mAh
連続使用時間	約9時間（ノイズキャンセリングと内蔵ストレージ録音オフ） 約6時間（ノイズキャンセリングと内蔵ストレージ録音オン）
充電時間	約1.75時間

サイズ	40×25.4×19.76mm (L×W×H) マグネットクリップ含む
重量	20.5 g
動作温度	-20℃ ～ 50℃
保管温度	-20℃ ～ 50℃

受信機（レシーバー：BOYAMIC 2-RX）

伝送方式	2.4GHzデジタル周波数帯
信号変調	ガウス周波数シフト・キーイング
アンテナ	PIFA（板状逆Fアンテナ）
RF出力電力	<10dBm
モニタリングポート	3.5mm TRS
最大到達範囲	最大300m（障害物がある場合60m）
周波数特性	20Hz ～ 20KHz
S/N比	≥90dB
オーディオ出力	USB-C / Lightning / 3.5 mmアナログ出力
バッテリー容量	430mAh
連続使用時間	約15時間（送信機×2+受信機×1）
充電時間	約2時間
サイズ	53.6×28.2×24.1mm (L×W×H)
重量	29.5g（アダプターの2g除く）
動作温度	-20℃ ～ 50℃
保管温度	-20℃ ～ 50℃

充電ケース（BOYAMIC 2-CC）

バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー容量	2900mAh
電源供給	USB-Cポート
充電時間	約2.5時間（5V/2.5A）
充電サイクル	2回以上使用可能（送信機×2台）
重量	176g
サイズ	112×45.5×57.6mm（L×W×H）
動作温度	-20℃ ～ 50℃
保管温度	-20℃ ～ 50℃